

多可町公共施設等再配置計画（第Ⅱ期）
2026 年度～2035 年度

（案）

令和 8 年(2026 年)3 月

多可町

目 次

第1章 はじめに	1
1. 計画策定の目的	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画期間	2
4. 対象施設と検討団体	3
5. 目標値（延床面積の削減見込量）	4
6. 検討の流れ	5
第2章 多可町の現状	7
1. 人口動向	7
2. 財政の状況	8
3. 公共施設の整備状況	9
第3章 評価方法及び評価結果	10
1. ⑤普通財産等	10
1-1. 評価方法	10
1-2. 評価結果	10
2. ⑥それ以外の施設	15
2-1. 第1段階評価方法	15
2-2. 対象施設（⑥それ以外の施設）	19
2-3. 第1段階評価結果	21
2-4. 第2段階評価方法	22
2-5. 第2段階評価結果	23
2-6. 最終評価結果	26
第4章 有効活用について	29
第5章 フォローアップの実施方針	31
第6章 個別施設の現状と対策	32
1. 対象施設	32
2. 施設毎の現状（劣化状況）の整理	34
3. 今後の取り組み方針	37
4. 対策内容と実施時期及び対策費用	38
参考資料	42

第1章 はじめに

1. 計画策定の目的

本町では、昭和 50 年代から昭和 60 年代にかけて人口が増加し、これに合わせて公共施設も整備してきましたが、築 30 年を経過する施設が全体の 6 割近くを占めており、大規模改修や建替え等の更新時期を迎えています。

一方で、人口減少・少子高齢化の進行における税収の減少、社会保障費の増加等の厳しさを増す財政状況の中、公共施設の維持管理や更新費用は、今後の町の財政にとって非常に大きな負担となることが予測されます。

このような中、平成 28 年 3 月に策定した「多可町公共施設等総合管理計画」では、公共建築物について、「総延床面積を 30 年間で 4 割削減」することを目標としました。そして、この目標を実現させるために、各施設の方向性を示す「多可町公共施設等再配置計画（第Ⅰ期）」を平成 30 年 3 月策定し、今回それを改定した「多可町公共施設等再配置計画（第Ⅱ期）」を策定しました。

今後は、この計画に基づき、個別の公共施設の見直しに取り組んでいきます。

2. 計画の位置づけ

公共施設等再配置計画は、総合管理計画の下位計画として位置付け、総合管理計画に示している対象施設のうち、公共施設（公共建築物）について、具体的な方針を示しています。

本計画では、施設の担当部署等を踏まえ、「①学校園、学童施設」、「②公営住宅」、「③供給施設（インフラ系）」、「④庁舎（役場、プラザ）」、「⑤普通財産等（普通財産、倉庫、一時利用、行政財産（使用貸借・賃貸借）」、「⑥それ以外の施設」に区分けし、別々に検討したものを取りまとめた計画としています。

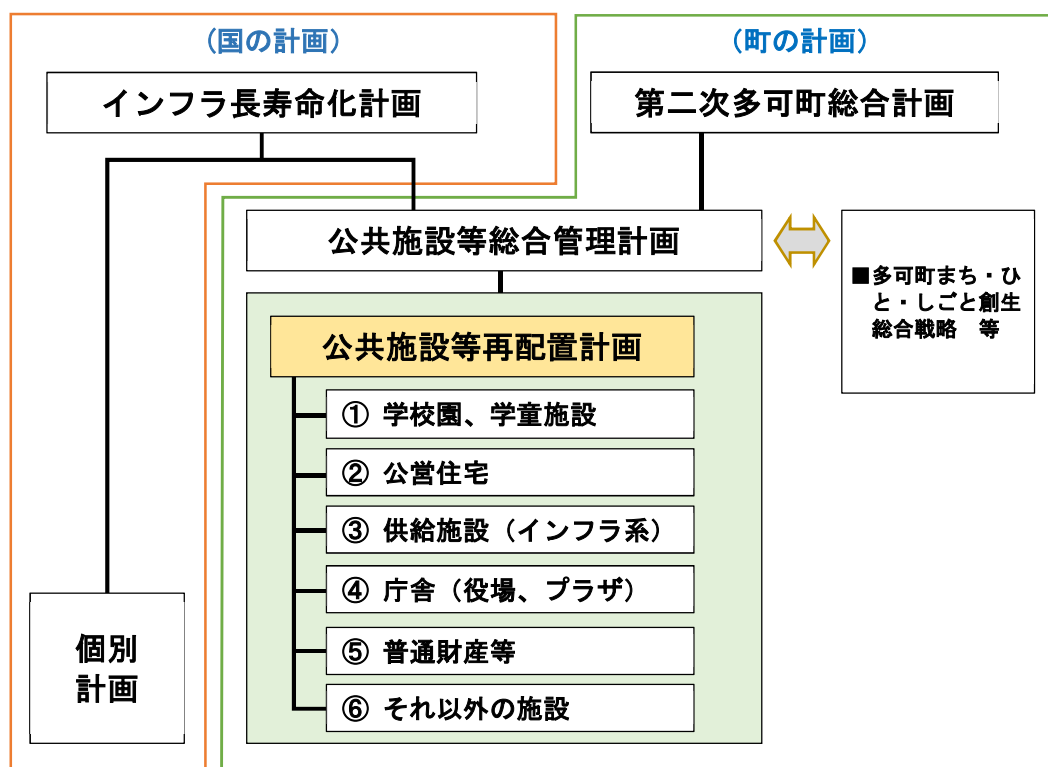


図 公共施設等再配置計画の位置付け

3. 計画期間

本計画の対象期間は、2016年度（平成28年度）から2045年度（令和27年度）までの30年間とし、第Ⅱ期は2016年度から2025年度の10年間としています。

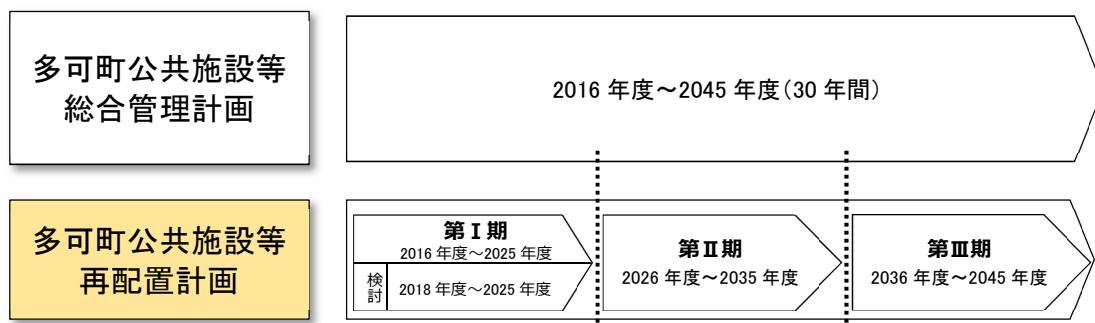


図 計画期間

4. 対象施設と検討団体

対象施設は、次のとおり区分けし、各団体で検討しています。

なお、「学校園、学童施設」、「公営住宅」、「供給施設（インフラ系）」、「庁舎（役場、プラザ）」は、別途の計画等で検討しております。

表 対象施設と検討団体

対象施設	検討団体名	計画名
①学校園、学童施設	・多可町子ども・子育て会議 ・多可町教育委員会	・第3期多可町子ども・子育て支援事業計画 ・第2次多可町教育ビジョン（－多可町教育振興基本計画－）
②公営住宅	・第2次多可町住宅マスタープラン策定委員会	・第2次多可町住宅マスタープラン
③供給施設（インフラ系）	・多可町上下水道課	・多可町水道事業経営戦略 ・多可町公共下水道事業計画 ・多可町下水道事業経営戦略
④庁舎（役場、プラザ）	・町方針で決定	—
⑤普通財産等（普通財産、倉庫、一時利用、行政財産（使用貸借・賃貸借））	・多可町行政改革推進本部	本計画の P.10 ～ P.14
⑥それ以外の施設	・多可町行政改革推進本部 ・多可町行政改革推進委員会	本計画の P.15 ～ P.28

5. I 期の実績と II 期の目標値（延床面積の削減量）

I 期における対象施設の延床面積の削減量は以下のとおりとなりました。

また、II 期においては、検討の結果、約 26.9%の延床面積を削減することを見込んでいます。

なお、「⑤普通財産等」、「⑥それ以外の施設」の削減見込量は、本計画の第 3 章に示している評価結果より算出しています。

I 期の実績と II 期の目標値

対象施設	対象施設の 総延床面積		対象施設の総延床面積			第 II 期(2026 年～2035 年)		
	(2018 年 2 月現在)		(I 期末 2026 年 3 月末現在)			削減見込量		
	施設数	面積 (㎡)	施設数	面積 (㎡)	削減割合	施設数	面積 (㎡)	削減割合
①学校園、学童施設	13	47,583.40	11	45,308.81	1.5%	9	36,274.35	7.5%
②公営住宅	395	26,952.36	350	24,459.14	1.6%	340	23,859.14	2.0%
③供給施設(インフラ系)	30	10,142.00	28	8,996.00	0.8%	28	8,996.00	0.8%
④庁舎(役場、プラザ)	3	7,705.60	3	9,794.50	-1.4%	3	9,794.50	-1.4%
⑤普通財産等(普通財産、倉庫、一時利用、行政財産(使用貸借・賃貸))	31	17,279.74	16	9,383.56	5.2%	8	1,489.00	10.4%
⑥それ以外の施設	62	41,868.37	45	31,676.28	6.7%	41	30,409.38	7.6%
計	534	151,531.47	453	129,618.29	14.5%	429	110,822.37	26.9%

※「削減」とは対象施設の延床面積を削減することであり、公共サービスの量が削減されることはありません。

6. 検討の流れ

①学校園、学童保育施設

小・中学校（多可中学校含む）、給食センターについては教育委員会で、学童施設は小学校のあり方の動向を考慮した上で、こども未来課で検討していきます。

②公営住宅

平成 29 年 3 月に策定の第 2 次多可町住宅マスタープラン（平成 29 年度～令和 8 年度）で検討済みです。

③供給施設（インフラ系）

平成 28 年 3 月に策定の多可町水道事業経営戦略（平成 29 年度～令和 13 年度）、多可町下水道事業経営戦略（平成 29 年度～令和 13 年度）で検討済みです。

④庁舎（役場、両プラザ）

多可町役場、加美プラザ、八千代プラザについては、町の方針によって別途検討していきます。

⑤普通財産等（普通財産、倉庫、一時利用、行政財産（使用貸借・賃貸借））

現在、何らかの形で活用がある施設については、これまで以上に自由で活発な利活用を目指すため、活用団体への譲渡を積極的に推進していきます。また、ニーズが減少している施設については、除却も含め検討していきます。

⑥それ以外の施設

対象施設について、第 1 段階評価と第 2 段階評価を実施しました。

第 1 段階評価については、各施設を公共性、有効性、効率性、安全性等、多様な視点で評価し、A～E までの 5 段階にランク付けを行いました。

第 2 段階評価では、D と E ランクとなった施設の必要性について検討を行い、「現状維持」「（譲渡等の検討の結果）現状維持するが修繕しない」「（譲渡等の検討の結果）廃止、取り壊し」の評価結果を出しました。

次頁に「それ以外の施設」の検討の流れの図を示します。

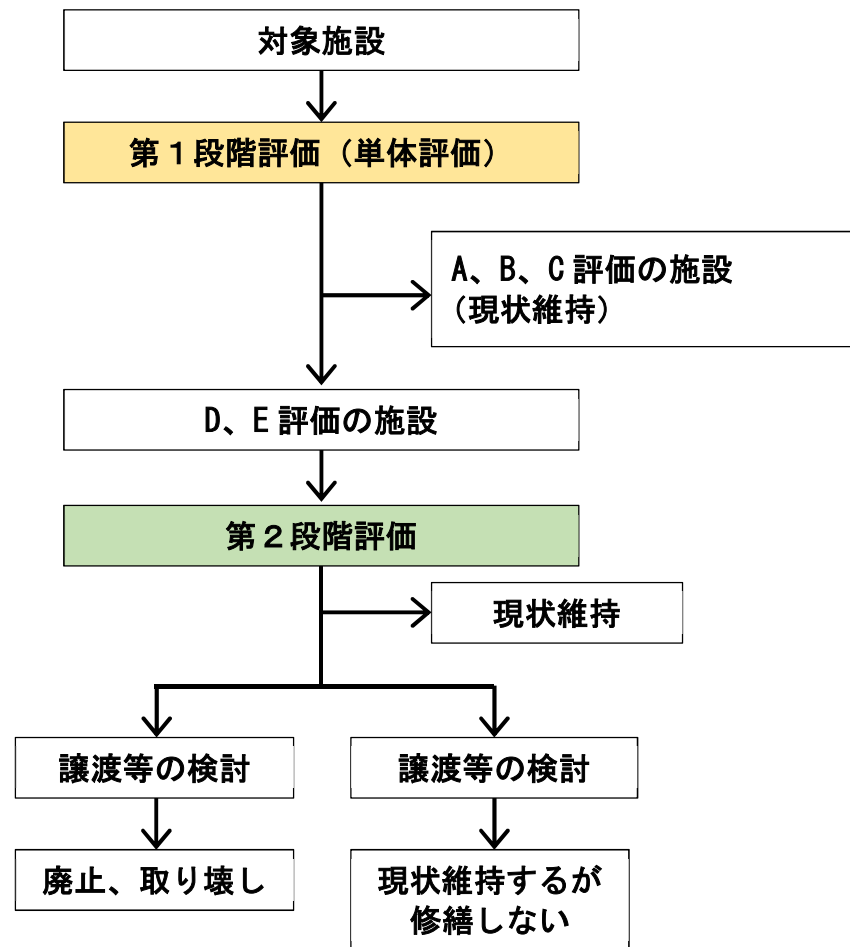


図 「それ以外の施設」の検討の流れ

第2章 多可町の現状

1. 人口動向

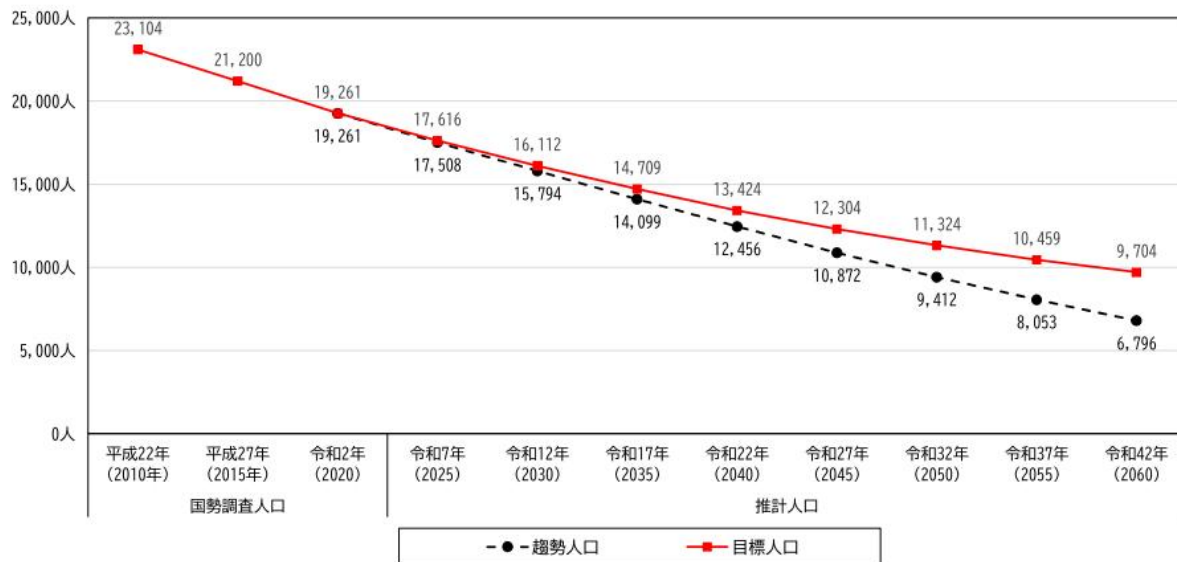
近年の多可町の総人口は、昭和60年（1985年）の26,179人をピークに減少しています。多可町が誕生した平成17年（2005年）には25,000人を割り、令和2年（2020年）には2万人を下回り19,261人となっています。

今後も減少傾向は続き、「多可町デジタル田園都市構想総合戦略／第3期総合戦略（R6.3策定）」においては、近年の社会動態（転出・転入）及び自然動態（出生・死亡）の構造が続くと仮定した現状趨勢（すうせい）ケースで令和42年（2060年）に人口が6,796人まで減少すると見込まれています。しかし、無理のない人口対策（転出抑制、転入促進、出生率回復等）を着実に実施した場合の目標人口は、令和42年（2060年）で9,704人になると設定されています。

また、生産年齢人口の割合については平成2年（1990年）には64.2%、令和2年（2020年）には51.5%でしたが、令和42年（2060年）には趨勢人口で33.5%、目標人口で38.7%になることが予想されています。

※生産年齢は15～64歳。

多可町の将来人口



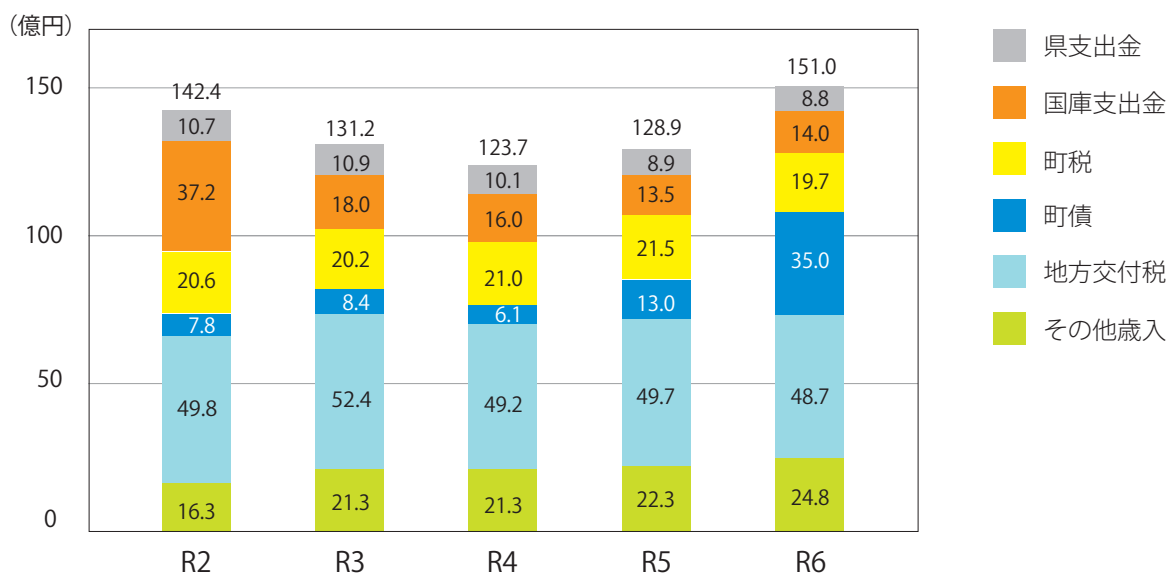
出典：多可町デジタル田園都市構想総合戦略／第3期総合戦略 人口ビジョン

2. 財政の状況

多可町の歳入は一般会計において令和6年度で149.4億円であり、そのうち町税は19.7億円で全体の13.2%となっています。それに対して、歳出は令和6年度で146.8億円であり、そのうち扶助費は18.8億円と全体の12.8%であります。今後、高齢化社会の進行に伴い増加するものと想定されます。また、公共施設等の整備の財源となる投資的経費は36.4億円(全体の24.8%)、維持補修費は0.2億円(全体の0.1%)となっています。

今後は、扶助費等の増加に伴い、町の財政状況は厳しさを増すことが想定されることから、投資的経費に当てられる財源の確保が難しくなると考えられます。

また、町の歳入を見ると、地方交付税など依存財源の割合が高い状況が続いていることから、国の施策に影響するところが大きい状況が続いています。



歳入決算額の推移

出典：普通会計（多可町資料）



歳出決算額の推移

出典：普通会計（多可町資料）

※扶助費：社会保障制度の一環として生活困窮者、高齢者、児童、障がい者等に対して行う支援に要する経費

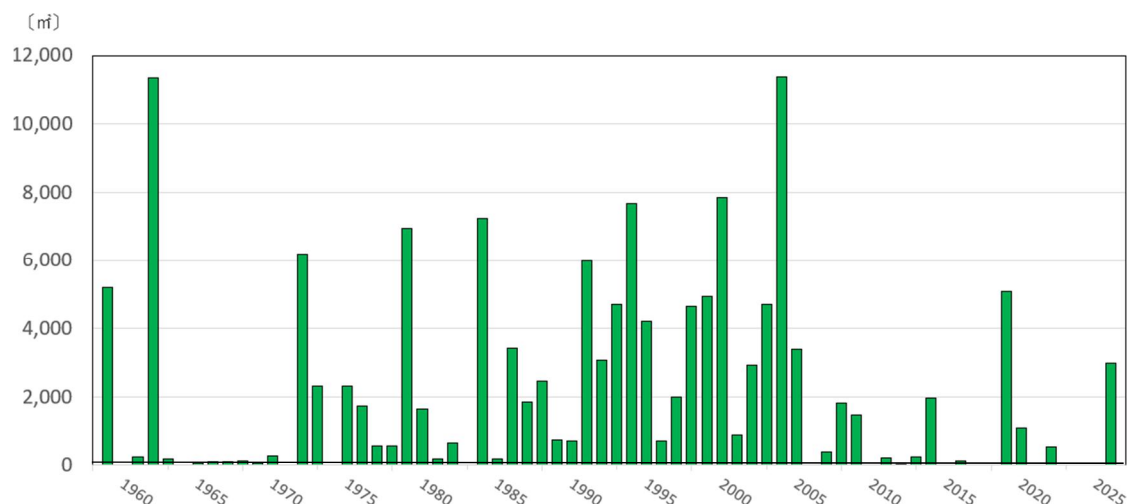
※投資的経費：公共施設、道路、上下水道等の建設や用地購入等、社会資本の形成に資する経費

3. 公共施設の整備状況

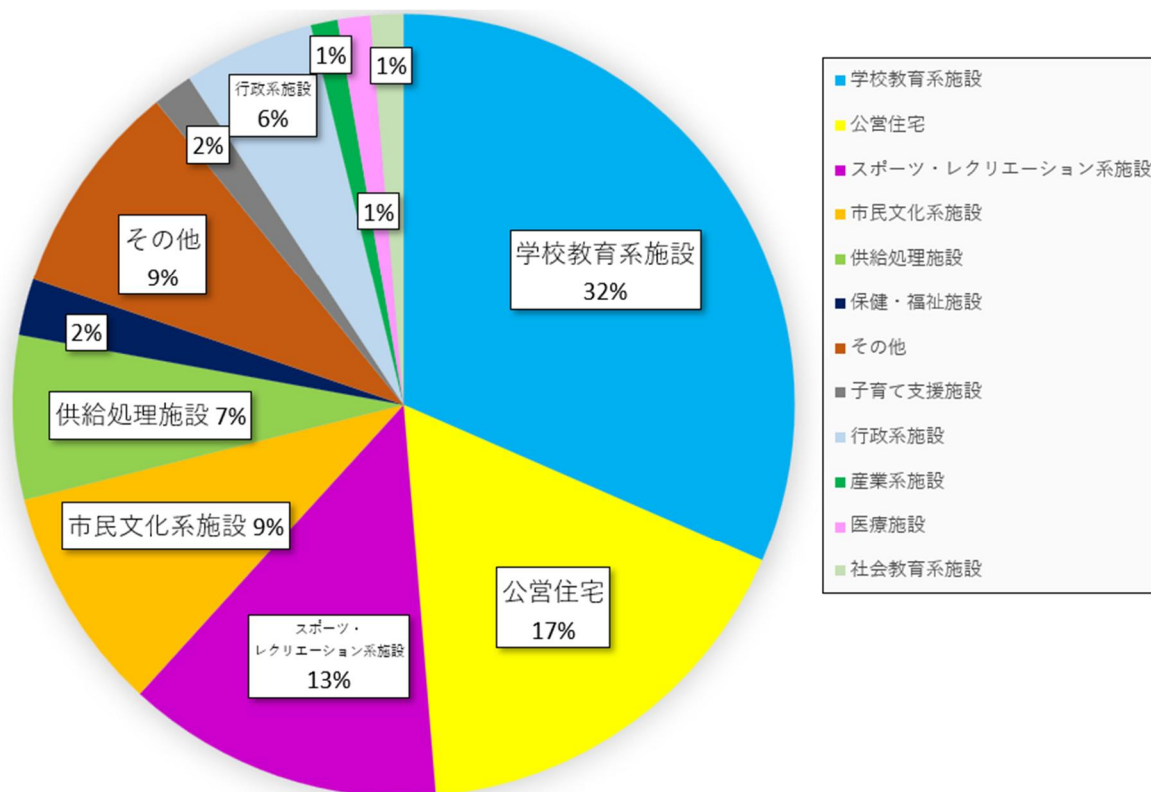
今回策定する「多可町公共施設等再配置計画（第Ⅱ期）」の対象施設（令和7年度末時点）は453施設、総延床面積129,618.29㎡であり、令和7年10月1日現在の多可町の人口18,302人に対して、町民1人当たりの延床面積は7.08㎡になっています。

年度別の整備状況を見ると、現存する施設では平成15年（2003年）が最も多く整備され、次いで昭和36年（1961年）、平成11年（1999年）となっています。

また、施設分類別の整備状況では、学校教育系施設が32%で最も多く、次いで、公営住宅17%、スポーツ・レクリエーション系施設13%、市民文化系施設9%となっています。



公共施設の整備状況（年度別）



公共施設の整備状況（施設分類別）

第3章 評価方法及び評価結果

第Ⅱ期で検討する「⑤普通財産等」と「⑥それ以外の施設」について、評価方法と評価結果を示します。

1. ⑤普通財産等

1-1. 評価方法

現在、何らかの形で活用がある施設については、行政改革推進本部及び庁内の担当課等で検討し、○（現状維持）、△（譲渡等検討・手放す方向で調整）、▲（現状維持するが修繕しない）、×（廃止・取り壊し）に分類しました。

1-2. 評価結果

検討した結果、下表のとおりとなりました。第Ⅱ期は、△に分類した施設は、これまで以上に自由で活発な利活用を目指すため、活用団体への譲渡を積極的に推進していきます。また、×に分類した施設は、廃止・取り壊しの検討を進めます。

■検討結果

分 類	施設数
○（現状維持）	10 施設
△（譲渡等検討・手放す方向で調整）	10 施設
▲（現状維持するが修繕しない）	1 施設
×（廃止・取り壊し）	4 施設
△×（譲渡等検討・手放す方向で調整または廃止・取り壊し）	12 施設
▲×（現状維持するが修繕しないまたは廃止・取り壊し）	6 施設
計	43 施設

■評価結果一覧（⑤普通財産等）

※最終結果

○（現状維持）

▲（現状維持するが修繕しない）

△（譲渡等検討、手放す方向で調整）

×（廃止、取り壊し）

NO	施設名	白書 番号	住所	延床面積 (㎡)	施設 区分	担当課	運営	取り組む方向性	結果
1	旧上下水道センタ ー	126	中区岸上 224- 12	647.00	普通	財政課	賃貸借 使用貸借	多可町社会福祉協議会に使用貸借し、シルバー人材センターに賃貸借している。今後、手放す方向で調整する。	△
2	通園バス等倉庫	158	中区岸上 227-1	163.00	普通	総務課	倉庫	役場の倉庫として利用しているため、現状維持。	○
3	ふるさと工房夢蔵	117	中区天田 340-1	42.00	普通	商工 観光課	使用 貸借	使用貸借先の夢蔵に譲受の意向を確認し、手放す方向で調整する。	△
4	中町中学校	51	中区奥中 588	7208.00	行政	財政課 ・生涯 学習課	直営	中町中学校跡地は都市公園になることが予定されているため、閉校後の令和8年度に除却。 体育館と格技場、部室棟は、体育施設として使用するため、現状維持。	×
5	旧中給食センター	157	中区奥中 592-1	719.77	普通	総務課	倉庫	倉庫として使用しているが、令和8年度に中町中学校と共に除却。	×
6	旧中区特設第1 分団消防庫	159	中区中村町 119-1	118.00	普通	総務課	倉庫	消防自動車のガレージ及び機密文書の保管場所として現状維持。	○
7	西脇消防署多可 出張所	189	中区茂利 243-1	548.42	普通	生活 安全課	使用 貸借	多可町消防・防災施設に関する個別施設計画で検討済み。	○
8	稲荷コミュニティセ ンター	2	中区靴屋 434- 11	1126.99	普通	財政課	—	令和8年度に除却。	×
9	文化財保存施設 兼小規模シカ肉 処理加工施設	46	加美区市原 670-15	69.00	行政	産業 振興課	使用 貸借	猟友会によるシカ肉処理加工は運営上の課題等もあり、活用は行なえていないが、国庫補助金により整備を行っており、施設の処分については国、県との協議が必要。また那珂ふれあい館の資材置場になっているため、現状維持。	▲
10	旧農林業公園 「ハーモニーパー ク」	25	加美区三谷 663-1	651.90	普通	商工 観光課	使用 貸借	民間企業に使用貸借している。今後、手放す方向で調整する。	△
11	旧ウッディーハウ ス「あぜくら」	182	加美区三谷 663-1	81.50	普通	商工 観光課	使用 貸借		△
12	みどり工業所	172	加美区門村 472-2	614.00	普通	財政課	使用 貸借	民間企業に使用貸借している。契約が終了した場合は、新たに利活用者を公募し、譲渡・除却を検討する。	△×

NO	施設名	白書 番号	住所	延床面積 (㎡)	施設 区分	担当課	運営	取り組む方向性	結果
13	旧サンスポーツ ランド加美	22	加美区豊部 1840-52	260.00	普通	財政課	—	使用されていないため、旧青年の家と一体 で貸し出すことを検討する。それができな い場合は、除却も検討する。	▲×
14	旧多可町青年の 家「エコミール加 美」	26	加美区豊部 1840-53	1762.00	普通	財政課	使用 貸借	民間企業に使用貸借している。契約が終 了した場合は、新たな利活用者を公募す る。ない場合は、除却も含め検討する。	△×
15	旧林業者休養施 設「悠遊館」	27	加美区豊部字フ シヨ谷山 1840- 53	370.00	普通	財政課	使用 貸借		△×
16	旧アスピア施設 (校舎)	165	加美区豊部 1879-1	500.50	普通	財政課	使用 貸借		△×
17	旧アスピア施設 (寄宿舎)3階建	166	加美区豊部 1879-1	536.10	普通	財政課	使用 貸借		△×
18	旧アスピア施設 (食堂)	167	加美区豊部 1879-1	65.00	普通	財政課	使用 貸借		△×
19	屋内運動場A	21	加美区豊部 1910-6	750.00	普通	財政課	使用 貸借		△×
20	旧アスピア施設 (寄宿舎)3階建・ 北	168	加美区豊部 1922-11	995.64	普通	財政課	賃貸 借	民間企業に賃貸借している。契約が終了 した場合は、新たな利活用者を公募する。な い場合は、除却も含め検討する。	△×
21	屋内運動場B	169	加美区豊部 1922-1	179.00	普通	財政課	賃貸 借		△×
22	旧加美給食センタ ー	160	加美区豊部 483	442.00	普通	財政課	賃貸 借	民間企業に賃貸借している。契約先に譲 受けの意向を確認し譲渡も検討。	△
23	加美水防倉庫	162	加美区豊部 237-1	92.00	普通	生活 安全課	倉庫	水防倉庫として利用中のため、現状維持。	○
24	川東倉庫	163	加美区豊部 1898-5	75.00	普通	商工 観光課	倉庫	やぐら等、夏まつりの道具置場として利用 中のため、現状維持。	○
25	加美中学校	54	加美区豊部 300	8043.00	行政	財政課	直営	閉校後の活用について、地域や民間での 利活用を検討中。受け手がない場合は、 除却も含めて検討する。	▲×
26	西脇消防署多可 北出張所	190	加美区豊部 240	553.24	普通	生活 安全課	使用 貸借	多可町消防・防災施設に関する個別施設 計画で検討済み。	○
27	旧かみの朝市 南直売所	171	加美区的場 145-6	97.00	普通	商工 観光課	使用 貸借	民間企業に賃貸借している。契約先に譲 受けの意向を確認し譲渡も検討。	△×

NO	施設名	白書 番号	住所	延床面積 (㎡)	施設 区分	担当課	運営	取り組む方向性	結果
28	通園バス倉庫(加美)	187	加美区的場 93-1	57.00	普通	こども 未来課	使用 貸借	民間企業に賃貸借している。契約先に譲 受けの意向を確認し譲渡も検討。	△
29	旧介護支援センタ ー「ヘルパーステ ーション」	69	加美区寺内 122-1	441.00	普通	財政課	賃貸 借	民間企業に賃貸借をしている。新たな活用 者を公募する。ない場合は、除却も含め検 討する。	△×
30	加美特産品開発 センター	45	加美区寺内 251	285.00	行政	商工 観光課	使用 貸借	他の 2 区の特産品加工施設と同様、条例 を廃止し、使用貸借しているかみ特産品ク ラブに譲受の意向を確認する。無ければ、 公募により利活用者を決定する。	△
31	旧笠形山自然公 園センター「ネイ チャーパークかさ がた」	37	八千代区大屋 378-1	1121.10	普通	商工 観光課	—	利活用の公募も行った結果、地域、民間で の活用希望がなかったため除却。	×
32	マイスター工房八 千代(カルチャー 部門)	41	八千代区中村 69-1	444.00	行政	商工 観光課	使用 貸借	使用貸借先のマイスター工房八千代に譲 受の意向を確認する。なければ、地域に意 向確認し、新たな利活用について公募し、 受手がなければ廃止。	△
33	マイスター工房八 千代(加工部門)	47	八千代区中村 46-1	207.00	行政	商工 観光課	使用 貸借		△
34	旧八千代北小学 校	56	八千代区下村 316-12	3431.00	普通	財政課	—	地域の意向を確認し、公募により利活用者 を決定する予定。	▲×
35	八千代コミュニテ ィプラザ別館	82	八千代区中野間 650-1	324.00	普通	財政課	—	八千代区の倉庫として利用している。消防 無線の基地アンテナが設置されており、消 防組合との調整による移設時期まで現有 が必要。基地アンテナがなくなる場合は、 除却も含め検討する。	▲×
36	エーデルささゆり 車庫・倉庫	174	八千代区中野間 363-13	340.00	行政	商工 観光課	倉庫	車庫はエーデルささゆりが利用し、倉庫は 町が利用しているため、現状維持。	○
37	旧八千代保健 センター	175	八千代区中野間 667	600.00	普通	総務課	倉庫	文書保管場所として利用しているため、現 状維持。	○
38	八千代水防倉庫	184	八千代区中野間 650-1	32.00	普通	生活 安全課	倉庫	水防倉庫として利用しているため、現状維 持。	○
39	八千代中学校	58	八千代区中野間 680	5881.00	行政	財政課	直営	閉校後の活用について、地域や民間での 利活用を検討中。受け手がない場合は、 除却も含めて検討する。	▲×

NO	施設名	白書 番号	住所	延床面積 (㎡)	施設 区分	担当課	運営	取り組む方向性	結果
40	西脇消防署多可 南出張所	191	八千代区中野間 650	553.24	普通	生活 安全課	使用 貸借	多可町消防・防災施設に関する個別施設 計画で検討済み。	○
41	通園バス倉庫(八 千代)	185	八千代区中野間 363	63.75	普通	こども 未来課	使用 貸借	民間企業に使用貸借している。今後、譲渡 を検討する。	△
42	旧子育てふれあ いセンター	178	八千代区仕出原 353	470.70	普通	こども 未来課	—	キッズランドやちよと一体利用ができない か検討し、できない場合は除却も含めて検 討する。	▲×
43	旧八千代西小学 校	57	八千代区大和 1367	2546.00	普通	財政課	賃貸 借	民間企業に賃貸借をしている。契約期間 中は現状維持。契約が終了した場合は、 再度、地域の意向を確認した上で、公募に より利活用者を決定する。	△×

【一覧表の説明】

※施設区分：○行政財産（地方公共団体において、直接に公の目的に供することを決定した公有財産）
○普通財産（行政財産以外の公有財産）

※中町中学校、加美中学校、八千代中学校は令和８年４月に普通財産になる予定のため、普通財産として評価を実施。

※除却予定の施設

中町中学校（体育館、格技場、部室棟を除く）、旧中給食センター、稲荷コミュニティセンター、ネイチャーパークか
さがた

2. ⑥それ以外の施設

2-1. 第1段階評価方法

公共施設再配置の検討の第1段階として、施設個々の取り扱い（方向性・目安）を『評価マトリックス』（※1）により実施しました。

a) 評価マトリックスの構成

2つの視点（X軸・Y軸）で評価を行いました。

- ・公共性評価（X軸・横軸）・・・公的関与の必要性・妥当性
- ・施設評価（Y軸・縦軸）・・・有効性（地域内互換性、利便性、利用者状況）、効率性、安全性（施設老朽度、耐震性能）

b) 基本的な考え方

■個々の施設について恣意性を排し、一律（公平）に評価を実施しました。

○ 評価する項目について、それぞれの項目で点数化します。

- ・利用人数やコストは、1㎡当たりの値で算出します。
- ・改修の実施状況や耐震性能等は、建物そのもののデータから算出します。

■評価マトリックスの分布は大きな偏りが無いようにしました。

○ 評価マトリックスへの配置は、上位3割、中間4割、下位3割とします。

○ 個々の建物の設置根拠（条例）に基づき、下図のとおり目的別に施設を区分けした全9分類とします。

1	市民文化系施設
2	社会教育系施設
3	スポーツ・レクリエーション系施設
4	産業系施設
5	子育て支援施設
6	保健・福祉施設
7	医療施設
8	行政系施設
9	その他

※1 評価マトリックス：公共施設が持つ価値を2つの指標を使って、それぞれ3段階に分類し、再配置の検討にあたっての優先度を判断するものです。

c) 公共性評価（X軸・横軸）の構成

【目的】

- ・施設について、公の機関（町）が担っていく必要性や関わっていく必要性に強弱をつけ、『役所が主体となって維持し続けるべき施設』、『役所関与の必要性が高い施設（法的に役場でしか扱えないような事務を行う施設等）』なのかの判断材料を得ます。

【評価内容】

下記の 6 項目を設定し、配点を次のとおりとします。各施設はその点数によってマトリックスに配置します。

項目	内 容	Y E S	N O
1	住民の生命、財産、権利を擁護し、又は、住民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、助言、情報提供、相談、教育等のための施設	1 点	
2	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網（セーフティ・ネット）となる施設	1 点	
3	施設の設置時と比較して、社会経済情勢が変化し、あるいは目的がすでに達成された等、概ね施設の意義が失われた施設		1 点
4	不特定多数の住民を対象としているが、実際の利用が特定の利用者に限られている、又はニーズが明らかに低下している施設		1 点
5	当該施設を町が直接管理運営することにより、効率的・効果的な運営が期待できる施設	1 点	
6	当該施設の管理運営に係る業務を民間等に任せることで、歳出抑制が期待できる施設		1 点

※備考）当初は『町の個性、特性、魅力を継承・発展・創造する施設』という項目を設定しようとしたが、公共施設は多かれ少なかれ全てこれに該当するとの意見から、評価項目から除外した。なお、同項目については、第 2 段階の『地域特性評価』等で検討する。

d) 施設評価（Y軸・縦軸）の構成

【目的】

- ・施設について有効性、効率性、安全性の各評価項目に強弱を付け、どの施設を優先しているのか（残していくのか）の判断材料を得ます。

【評価内容】

- ・各評価項目に3点を配点します。
- ・同種同類の施設における優先順位を判断するため、類型別に偏差値化を行い、評価マトリックスに配置します。

1. 有効性について

項 目	内 容	
①地域内 互換性	目 的	町の施設において、同種同様の施設やサービス・機能が類似する施設が存在するかどうかを明らかにします。
	配 点	町内に同様の施設が無い場合は3点。
	※補足	今後、集約や統合等を検討していく視点となります。よって、国・県、民間が設置する施設においても、その状況を明らかにします。
②利便性	目 的	当該施設がどのような場所に設置されているかを明らかにします。
	配 点	<ul style="list-style-type: none"> ・3点（メッシュ人口の多い上位3割） ・2点（メッシュ人口の多い中間4割） ・1点（メッシュ人口の多い下位3割） [評価マトリックスの配置基準を採用]
	※補足	メッシュ人口は、国土地理院が公表している R2 国勢調査における居住人口を、当該施設がある 500m メッシュ人口とそれを囲む 500m メッシュ人口の合計から算出します。
③利用者 状況	目 的	1㎡当たりの利用者数を比較します。
	配 点	<ul style="list-style-type: none"> ・3点（類型別に利用者が多い上位3割） ・2点（類型別に利用者が多い中間4割） ・1点（類型別に利用者が多い下位3割） [評価マトリックスの配置基準を採用]

2. 効率性について

項 目		内 容
①効率性	目 的	基本原則の出来るだけ一律（公平）な評価を実施するため、1 m ² 当たりの管理コストを比較します。
	配 点	<ul style="list-style-type: none"> ・3点（類型別に管理コストが低い上位3割） ・2点（類型別に管理コストが低い中間4割） ・1点（類型別に管理コストが低い下位3割） 〔評価マトリックスの配置基準を採用〕
	※補足	管理コストは、『歳出』から『歳入』を引いた値とし、次の範囲とします。 なお、複数の施設を一括して指定管理している場合、個々の施設にかかるコストは、面積按分して算出します。 『歳出』：光熱水費、施設の維持管理にかかる委託料、借地料、施設の維持補修費、その他施設の維持管理費（指定管理料等） ※ 当該施設で実施するソフト事業等にかかるコストは対象外 『歳入』：施設の使用料 ※建物本体が生み出す収入のみ対象

3. 安全性について

項 目		内 容	
①施設 老朽度	1)建物 耐用年数	目 的	建築年月日からの経過年数により算出した残存耐用年数が耐用年数全体においてどの程度なのか（老朽化の程度）を把握します。
		配 点	・3点（残存耐用年数÷耐用年数が3／4以上） ・2点（残存耐用年数÷耐用年数が1／2以上3／4未満） ・1点（残存耐用年数÷耐用年数が1／4以上1／2未満） ・0点（残存耐用年数÷耐用年数が1／4未満）
	2)改修の 実施状況	目 的	建築後、施設改修等を実施し、建物を長寿命化させた施設について、その程度を点数化して全体としての老朽度を明らかにします。
		配 点	・3点（大規模改修工事〔一式〕） ・2点（内装工事＋外装工事等） ・1点（内装工事のみ） ※改修等の工事をしていない場合でも、1)が3点なら3点、2点なら2点を加点する。
②耐震性能		目 的	法律で決められた耐震基準によって、耐震性の度合いを点数化します。
		配 点	・3点（新耐震基準） ・2点（旧耐震基準だが耐震改修済み） ・1点（旧耐震基準）

2-2. 対象施設（⑥それ以外の施設）

No	小学校区	施設類型	白書 番号	施設名	施設所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)
1	中北小	市民文化系施設	1	隣保館「ふれあいセンター」	中区天田 340-1	276.0	1969
2	中北小	市民文化系施設	5	教育集会所	中区東山 200-3	235.0	1980
3	中北小	市民文化系施設	186	生涯学習まちづくりプラザ「あすみる」	中区岸上 281-17	2988	2024
4	中北小	社会教育系施設	10	鍛冶屋線記念館	中区鍛冶屋 163-1	90.0	1993
5	中北小	社会教育系施設	11	ビジターセンター「那珂ふれあい館」	中区東山 539-3	1,170.0	2004
6	中北小	スポーツ・レクリエーション系施設	14	中央公園プール	中区岸上 224-19	215.0	1978
7	中北小	スポーツ・レクリエーション系施設	16	余暇村公園宿泊施設「ココロン那珂」	中区牧野 817-41	1,146.0	1992
8	中北小	スポーツ・レクリエーション系施設	17	道の駅「山田錦発祥のまち・多可」 (まちの駅・たか)	中区岸上 281-1	184.5	2012
9	中北小	スポーツ・レクリエーション系施設	65.2	健康福祉センター「アスパルアリーナ」	中区岸上 281-51	1,147.0	1999
10	中北小	スポーツ・レクリエーション系施設	125	余暇村公園 管理事務所	中区牧野 817-41	544.3	1985
11	中北小	子育て支援施設	156	子育てふれあいセンター「ココムル」	中区岸上 224-17	2782.9	1974
12	中北小	保健・福祉施設	65.1	健康福祉センター「アスパル健康福祉棟」	中区岸上 281-51	2,782.9	1999
13	中南小	市民文化系施設	4	文化会館「ベルディーホール」	中区中村町 135	2,994.0	1990
14	中南小	産業系施設	42	農村環境改善センター「グリーンプラザ」	中区曾我井 613-1	599.0	1998
15	中南小	子育て支援施設	59	中児童館	中区高岸 425-6	256.0	1982
16	中南小	行政系施設	79	防災センター	中区高岸 398	292.0	2001
17	杉原谷小	市民文化系施設	8	きた公民館	加美区丹治 500	271.0	1969
18	杉原谷小	社会教育系施設	12	杉原紙研究所	加美区鳥羽 768-46	481.0	1996
19	杉原谷小	社会教育系施設	13	和紙博物館「寿岳文庫」	加美区鳥羽 768-46	139.0	1999
20	杉原谷小	社会教育系施設	170	紙匠庵でんでん	加美区鳥羽 768-46	59.0	2002
21	杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	20	北部体育館	加美区清水 783-1	584.0	1987
22	杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	23	鳥羽キャンプ場	加美区鳥羽 747-2	114.0	1999
23	杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	24	ラベンダー園活性化施設	加美区轟 799-127	311.0	2008
24	杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	28	道の駅「杉原紙の里・多可」	加美区鳥羽 733-1	534.0	1996
25	杉原谷小	スポーツ・レクリエーション系施設	29	杉原紙展示・体験工房「杉原紙の里」	加美区鳥羽 768-46	122.0	2015
26	杉原谷小	産業系施設	44	ラベンダー園育苗販売加工施設	加美区轟 799-127	385.1	2008
27	杉原谷小	医療施設	75	杉原谷診療所	加美区市原 44	368.8	1990

No	小学校区	施設類型	白書 番号	施設名	施設所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)
28	松井小	市民文化系施設	7	交流会館	加美区寺内 251	612.0	1999
29	松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	18	加美体育館	加美区豊部 249	991.0	1974
30	松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	19	温水プール「サンスイム・カミ」	加美区豊部 1840－55	1,494.0	1991
31	松井小	スポーツ・レクリエーション系施設	30	滞在型市民農園「クラインガルテン岩座神」	加美区岩座神 251－1	1,015.9	2002
32	松井小	子育て支援施設	61	みなみ児童館	加美区の場 68－1	280.0	2004
33	松井小	医療施設	76	松井庄診療所	加美区寺内 251	625.0	1998
34	松井小	行政系施設	80	たかテレビ局	加美区豊部 1874	433.8	1997
35	松井小	その他	164	松井庄診療所官舎	加美区寺内 122－1	169.0	1989
36	旧八北小	保健・福祉施設	77.2	モルゲンハイト八千代(交流施設)	八千代区下村 109－1	133.5	2003
37	旧八北小	医療施設	77.1	モルゲンハイト八千代(国民健康保険八千代診療所)	八千代区下村 109－1	919.5	2003
38	旧八北小	その他	176	横屋自然観察館「きらら館」	八千代区横屋 94	59.0	2004
39	旧八南小	スポーツ・レクリエーション系施設	31	八千代体育館	八千代区中野間 363－13	918.0	1987
40	旧八南小	スポーツ・レクリエーション系施設	32	ガルテン八千代管理棟	八千代区中野間 363－13	186.0	1980
41	旧八南小	スポーツ・レクリエーション系施設	33	八千代B & G海洋センター(プール)	八千代区中野間 363－13	200.0	1988
42	旧八南小	スポーツ・レクリエーション系施設	34	八千代自然活用村施設「エーデルささゆり」	八千代区中野間 363－13	1,527.0	1990
43	旧八南小	スポーツ・レクリエーション系施設	35	交流促進センター(催事館)「リーベリリエン」	八千代区中野間 363－13	612.0	1995
44	旧八南小	スポーツ・レクリエーション系施設	36	農林産物加工処理施設「エアレーベン八千代」	八千代区中野間 363－14	1,068.0	1997
45	旧八西小	スポーツ・レクリエーション系施設	39	大和体験交流活性化施設「なごみの里山都」	八千代区大和 1520－1	1,148.0	2003

2—3. 第1段階評価結果

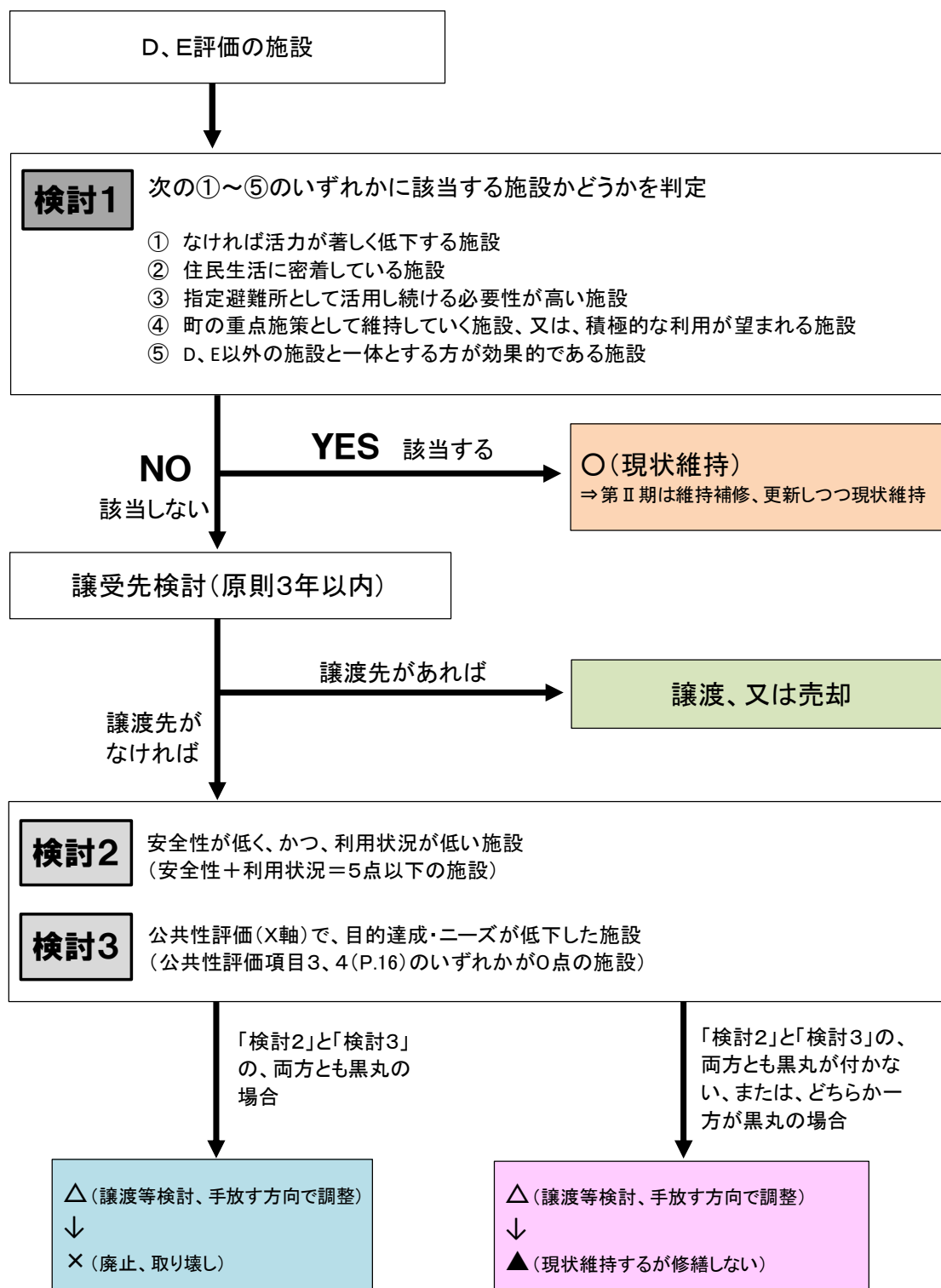
各施設を評価した結果、A～Eまでの5段階にランク付けを行いました。DとEランクについては、第2段階評価の対象とします。



2-4. 第2段階評価方法

第1段階評価の結果に基づき、庁内ヒアリングによって、第Ⅱ期でD、E評価に位置づけられた施設を第2段階評価（地域性等評価）で評価しました。

第2段階の評価は以下の流れで行いました。



2-5. 第2段階評価結果

第2段階評価をした結果、下表のとおりとなりました。

表 第2段階評価結果

内 容	施設数
○（第Ⅱ期は維持補修、更新しつつ現状維持）	16 施設
▲（現状維持するが修繕しない）	3 施設
×（廃止、取り壊し）	6 施設
計	25 施設

第2段階評価フロー図 該当項目一覧

小学校区	施設類型	白書 番号	施 設 名	延床面積	運 営	評価 結果		
							①なければ活力が著しく低下する施設(所有主体は別として、ある程度、経済効果が見込まれる宿泊施設、観光施設)	②住民生活に密着している施設
中町北小	社会教育系施設	10	鍛冶屋線記念館	90.00	直 営	E		
	スポーツ・レクリエーション施設	14	中央公園プール	215.00	指定管理	D		
	スポーツ・レクリエーション施設	16	余暇村公園宿泊施設「ココロン那珂」	1146.00	指定管理	E		
	スポーツ・レクリエーション施設	17	道の駅「山田錦発祥のまち・多可」	184.50	指定管理	D		
中町南小	子育て支援施設	59	中児童館	256.00	直 営	D		
	産業系施設	42	農村環境改善センター「グリーンプラザ」	599.00	直 営	E		
杉原谷小	市民文化系施設	8	きた公民館	271.00	直 営	E		
	社会教育系施設	13	和紙博物館「寿岳文庫」	139.00	直 営	E		
	社会教育系施設	170	紙匠庵でんでん	59.00	直 営	D		
	スポーツ・レクリエーション施設	20	北部体育館	584.00	直 営	D		
	スポーツ・レクリエーション施設	23	鳥羽キャンプ場	114.00	指定管理	D		
	スポーツ・レクリエーション施設	28	道の駅「杉原紙の里・多可」	534.00	指定管理	E		
	スポーツ・レクリエーション施設	29	杉原紙展示・体験工房	122.00	直 営	D		
松井小	市民文化系施設	7	交流会館	612.00	直 営	E		
	スポーツ・レクリエーション施設	19	温水プール「サンスイム・カミ」		指定管理	D		
	スポーツ・レクリエーション施設	30	滞在型市民農園「クラインガルテン岩座神」	1015.90	指定管理	E		
	子育て支援施設	61	みなみ児童館	280.00	直 営	E		
	行政系施設	80	たかテレビ局	433.79	直 営	D		
旧八北小	保健・福祉施設	77.2	モルゲンハイト八千代(交流施設)	133.50	直 営	E		
	その他	176	横屋自然観察館「きらら館」	59.00	直 営	E		
旧八南小	スポーツ・レクリエーション施設	31	八千代体育館	918.00	直 営	D		
	スポーツ・レクリエーション施設	33	八千代B&G海洋センター	200.00	指定管理	D		
	スポーツ・レクリエーション施設	35	交流促進センター(催事館)「リーベリリエン」	612.00	指定管理	D		
	スポーツ・レクリエーション施設	36	農林産物加工処理施設「エアレーベン八千代」	1068.00	指定管理	D		
旧八西小	スポーツ・レクリエーション施設	39	大和体験交流活性化施設「なごみの里 山都」	1148.00	指定管理	D	●	

●は、検討1・2・3に該当する施設

□は、現在指定避難所となっているが、安全性等の面から検討の余地がある施設

①は、杉原紙研究所と一体利用

②は、国民健康保険八千代診療所と一体利用

③は、ガルテン八千代管理棟と一体利用

④は、エーデルささゆりと一体利用

検討1			検討2	検討3	結果	備 考
③指定避難所として活用し続ける必要性が高い施設	④町の重点施設として維持していく施設、又は、積極的な利用が望まれる施設	⑤D・E以外の施設と一体とする方が効果的である施設	安全性低く、かつ、利用状況が低い施設(安全性+利用状況:5点以下)	公共性評価で、目的達成・ニーズが低位した施設(公共性評価項目3,4(P.16)のいずれかが0点)		
	●		●	●	○	景観形成無形文化財に登録予定で、今後活用が期待できるため、現状維持
	●		●		○	現状維持
			●	●	△⇒×	譲渡を検討。受け手がない場合は廃止
	●				○	
				●	△⇒▲	
●			●	●	○	現状維持
			●	●	△⇒×	譲渡を検討。受け手がない場合は廃止
		①			○	杉原紙研究所と一体活用が期待できるため、現状維持
		①		●	○	杉原紙研究所と一体活用が期待できるため、現状維持
□			●	●	△⇒×	指定避難所として指定されているが、安全性が低いため廃止
				●	△⇒▲	
		①			○	杉原紙研究所と一体活用が期待できるため、現状維持
		①			○	杉原紙研究所と一体活用が期待できるため、現状維持
	●			●	○	
	●				○	部活の地域展開での利用もあるため、現状維持
			●	●	△⇒×	
	●		●	●	○	松井小学校の学童施設でもあるため、現状維持
	●		●		○	
	●	②	●	●	○	国民健康保険八千代診療所と一体施設のため、現状維持
			●	●	△⇒×	譲渡を検討。受け手がない場合は廃止
●		③	●		○	ガルテン八千代管理棟と一体施設のため、現状維持
			●	●	△⇒×	施設が老朽化し、使用者も減少しているため、廃止を検討
		④	●	●	○	エーデルささゆりと一体施設のため、現状維持
				●	△⇒▲	
●				●	○	現状維持

※評価結果

○(第Ⅱ期は維持補修、更新しつつ現状維持)

△(譲渡等検討、手放す方向で調整)

▲(現状維持するが修繕しない)

×(廃止、取り壊し)

2-6. 最終評価結果

対象施設について、第1段階評価結果（A～Eランク付け）と第2段階評価の結果を示します。

第1段階評価では、45施設の中で、Dランクが15施設、Eランクが10施設、計25施設が第2段階評価の対象となりました。

第2段階評価では、○（第Ⅱ期は維持補修、更新しつつ現状維持）が16施設、▲（現状維持するが修繕しない）が3施設、×（廃止、取り壊し）が6施設となりました。

今後は、第Ⅱ期として、▲と×の9施設について、譲渡、廃止・取り壊しの検討を進めます。

なお、A～Cランクについては、原則、第Ⅱ期は現状維持とします。

■第1段階評価結果

ランク	施設数
Aランク	4施設
Bランク	9施設
Cランク	7施設
Dランク	15施設
Eランク	10施設
計	45施設

■第2段階評価結果

内 容	施設数
○（第Ⅱ期は維持補修、更新しつつ現状維持）	16施設
▲（現状維持するが修繕しない）	3施設
×（廃止、取り壊し）	6施設
計	25施設

※ランクや評価結果に関係なく、個々の施設において政策的に計画を変更する場合があります。

■多可町公共施設最終評価結果（⑥それ以外の施設・第1段階、第2段階）一覧

小学校区	施設類型	白書 番号	施設名	延床面積	運営	第1段階 評価結果		第2段階 評価結果
中北小	市民文化系施設	1	隣保館「ふれあいセンター」	276.00		B		-
中北小	市民文化系施設	5	教育集会所	235.00		B		-
中北小	市民文化系施設	186	生涯学習まちづくりプラザ「あすみる」	2988.00		B		-
中北小	市民文化系施設	10	鍛冶屋線記念館	90.00		D	⇒	○
中北小	社会教育系施設	11	ビジターセンター「那珂ふれあい館」	1,170.00		A		-
中北小	スポーツ・レクリ エーション系施設	14	中央公園プール	215.00	指定管理	D	⇒	○
中北小	スポーツ・レクリ エーション系施設	16	余暇村公園宿泊施設「ココロン那珂」	1,146.00	指定管理	E	⇒	△⇒×
中北小	スポーツ・レクリ エーション系施設	17	道の駅「山田錦発祥のまち・多可」 （まちの駅・たか）	184.54	指定管理	D	⇒	○
中北小	スポーツ・レクリ エーション系施設	65.2	健康福祉センター「アスパルアリー ナ」	1,147.00		B		-
中北小	スポーツ・レクリ エーション系施設	125	余暇村公園 管理事務所	544.31		C		-
中北小	保健・福祉施設	65.1	健康福祉センター 「アスパル健康福祉棟」	2,782.90		A		-
中北小	子育て支援施設	156	子育てふれあいセンター「ココミル」	996.00		B		-
中南小	市民文化系施設	4	文化会館「ベルディーホール」	2,994.00		B		-
中南小	産業系施設	42	農村環境改善センター 「グリーンプラザ」	599.00		E	⇒	○
中南小	子育て支援施設	59	中児童館	256.00		E	⇒	△⇒▲
中南小	行政系施設	79	防災センター	292.00		A		-
杉原谷小	市民文化系施設	8	きた公民館	271.00		E	⇒	△⇒×
杉原谷小	社会教育系施設	12	杉原紙研究所	481.00		B		-
杉原谷小	社会教育系施設	13	和紙博物館「寿岳文庫」	139.00		E	⇒	○
杉原谷小	社会教育系施設	160	紙匠庵でんでん	59.00		D	⇒	○
杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	20	北部体育館	584.00		D	⇒	△⇒×
杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	23	鳥羽キャンプ場	114.00	指定管理	D	⇒	△⇒▲
杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	24	ラベンダー園活性化施設	311.00	指定管理	C		-
杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	28	道の駅「杉原紙の里・多可」	534.00	指定管理	E	⇒	○
杉原谷小	スポーツ・レクリ エーション系施設	29	杉原紙展示・体験工房「杉原紙の里」	122.00		D	⇒	○
杉原谷小	産業系施設	44	ラベンダー園育苗販売加工施設	385.10	指定管理	C		-
杉原谷小	医療施設	75	杉原谷診療所	368.78		B		-
松井小	市民文化系施設	7	交流会館	612.00		E	⇒	○
松井小	スポーツ・レクリ エーション系施設	18	加美体育館	991.00		C		-
松井小	スポーツ・レクリ エーション系施設	19	温水プール「サンスイム・カミ」	1,494.00	指定管理	D		○
松井小	スポーツ・レクリ エーション系施設	30	滞在型市民農園 「クラインガルテン岩座神」	1,015.86	指定管理	E	⇒	△⇒×
松井小	子育て支援施設	61	みなみ児童館	280.00		D	⇒	○
松井小	医療施設	76	松井庄診療所	625.00	指定管理	A		-
松井小	行政系施設	80	たかテレビ局	433.79		D	⇒	○
松井小	その他	164	松井庄診療所官舎	169.00	指定管理	C		-

小学校区	施設類型	白書 番号	施設名	延床面積	運営	第1段階 評価結果		第2段階 評価結果
旧八北小	保健・福祉施設	77.2	モルゲンハイト八千代（交流施設）	133.50		E	⇒	○
旧八北小	医療施設	77.1	モルゲンハイト八千代 （国民健康保険八千代診療所）	919.50		B		
旧八北小	その他	176	横屋自然観察館「きらら館」	59.00		E	⇒	△⇒×
旧八南小	スポーツ・レクリ エーション系施設	31	八千代体育館	918.00		D	⇒	○
旧八南小	スポーツ・レクリ エーション系施設	32	ガルテン八千代管理棟	186.00		C		-
旧八南小	スポーツ・レクリ エーション系施設	33	八千代B & G 海洋センター（プール）	200.00	指定管理	D	⇒	△⇒×
旧八南小	スポーツ・レクリ エーション系施設	34	八千代自然活用村施設 「エーデルささゆり」	1,527.00	指定管理	C		-
旧八南小	スポーツ・レクリ エーション系施設	35	交流促進センター（催事館） 「リーベリリエン」	612.00	指定管理	D	⇒	○
旧八南小	スポーツ・レクリ エーション系施設	36	農林産物加工処理施設 「エアレーベン八千代」	1,068.00	指定管理	D	⇒	△⇒▲
旧八西小	スポーツ・レクリ エーション系施設	39	大和体験交流活性化施設 「なごみの里山都」	1,148.00	指定管理	D	⇒	○
計				31,676.28				

※第2段階評価結果

- （第Ⅱ期は維持補修、更新しつつ現状維持）
- △（譲渡等検討、手放す方向で調整）
- ▲（現状維持するが修繕しない）
- ×（廃止、取り壊し）

第4章 有効活用について

■有効活用の方針

行政サービスを終了した施設については、積極的に有効活用を図っていきます。有効活用については、『多可町遊休公共施設活用事業選定委員会』で進めていきますが、その前段階から、地域の皆さんと協力・連携を深めていく仕組みを構築します。

○有効活用の進め方



図 有効活用の進め方のイメージ

○活用を検討する流れ

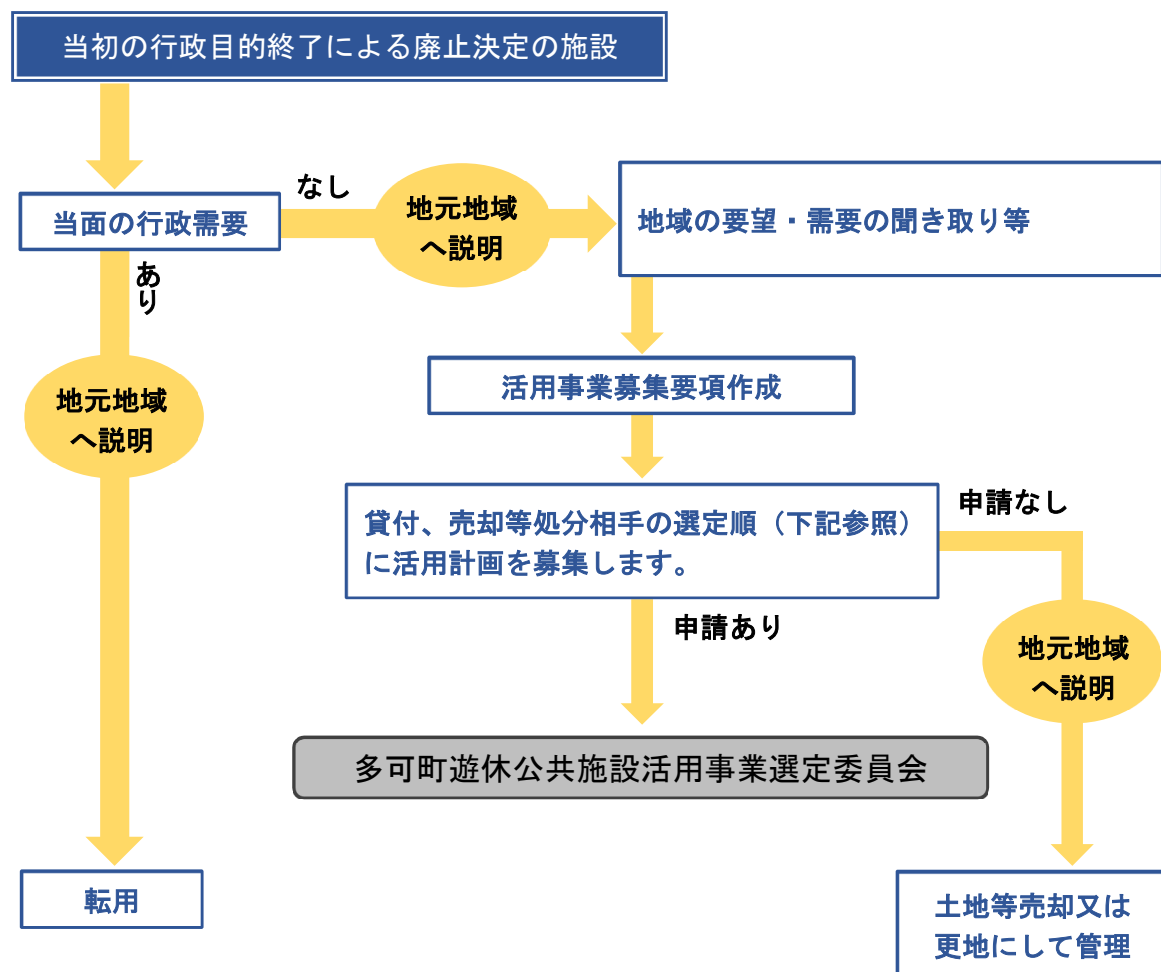


図 活用を検討する流れのイメージ

○貸付、売却等処分相手の選定順

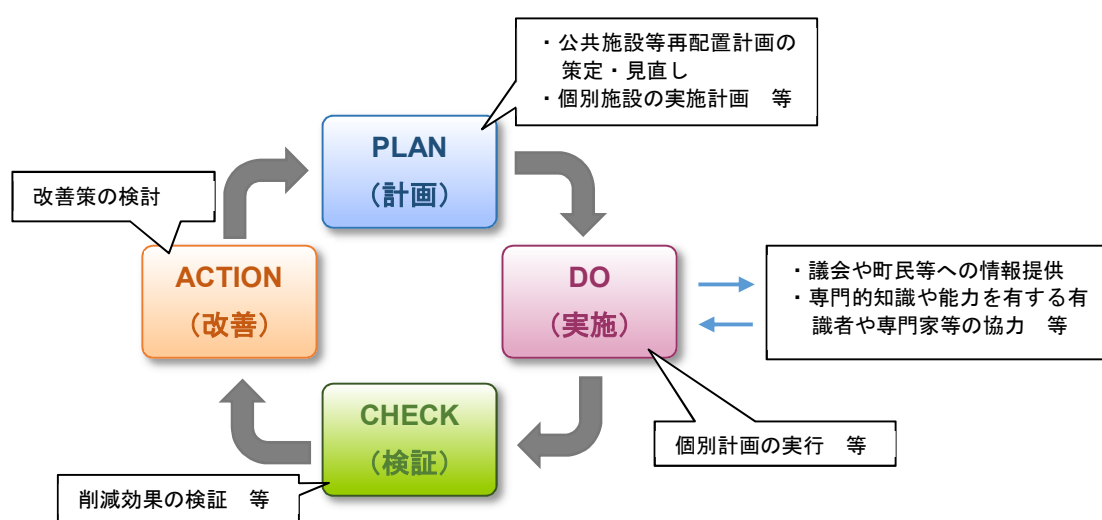
- ①行政目的での活用計画がない場合、施設・建物が所在する集落、地域に打診します。
(事業主体は、地元集落、地域)
- ②集落からの提案がない場合は、全町を対象に活用計画の提案を募集します。
(事業主体は、町内の任意活動団体、NPO 法人、事業者 等)
- ③町内で活用希望がない場合は、全国を対象に活用計画を募集します。

第5章 フォローアップの実施方針

■PDCA サイクルによる進捗管理

公共施設等再配置計画に基づき、町が所有する施設についてはこれまで以上に計画的な管理運営を図るとともに、譲渡等対象施設については、確実に推進していくため、事業の実施、進捗状況の確認・効果検証、取組内容の改善・見直しの各プロセスにおいて PDCA サイクル（計画・実行・評価・改善）を活用し、次のとおり進めていきます。

なお、今後の社会経済情勢の変化等により、内容の変更等が必要となる場合は、計画期間内であっても、内容の見直しを行うものとします。



- ① 町が所有する施設・・・公共施設点検シートにより管理していきます。
- ② 譲渡等対象施設・・・定期的に進捗状況を把握して推進していきます。

第6章 個別施設の現状と対策

本計画（「多可町公共施設等再配置計画（第Ⅱ期）」）での検討及び評価の結果、「現状維持」「維持補修、更新しつつ現状維持」とされた施設と「町方針で決定する」とされた「④庁舎（役場、プラザ）」について施設の長寿命化を図るとともに、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減と平準化を実現し、安心・安全な施設環境を確保するため、施設の老朽化等の現状を把握した上、施設毎の対策を整理します。

1. 対象施設

- ・「⑤普通財産等」で「○（現状維持）」と評価された 10 施設
- ・「⑥それ以外の施設」で評価が「A」「B」「C」の 20 施設
- ・「⑥それ以外の施設」で評価が「D」「E」のうち第 2 段階評価で「○ 第Ⅱ期は維持補修、更新しつつ現状維持」と評価された 16 施設
- ・「③庁舎（役場、プラザ）」の 3 施設

白書 番号	施設類型	施設名称	管理形態	構造	延床面積	建築年
1	市民文化系施設	隣保館「ふれあいセンター」	直営	R C	276	1969
4	市民文化系施設	文化会館「ベルディーホール」	直営	R S	2994	1990
5	市民文化系施設	教育集会所	直営	S	235	1979
6	市民文化系施設	加美コミュニティプラザ	直営	R C	2162	1972
7	市民文化系施設	交流会館	直営	S	612	1999
9	市民文化系施設	八千代コミュニティプラザ	直営	R C	2530	1978
186	市民文化系施設	生涯学習まちづくりプラザ「あすみる」	直営	R C	2988	2025
10	社会教育系施設	鍛冶屋線記念館	直営	W	90	1993
11	社会教育系施設	ビジターセンター「那珂ふれあい館」	直営	W	1170	2004
12	社会教育系施設	杉原紙研究所	直営	W	481	1996
13	社会教育系施設	和紙博物館「寿岳文庫」	直営	S	139	1999
170	社会教育系施設	紙匠庵でんでん	直営	W	59	2002
14	スポーツ・レクリエーション施設	中央公園プール	指定管理	R C	215	1978
17	スポーツ・レクリエーション施設	道の駅「山田錦発祥のまち・多可」	指定管理	W	184.5	2012
18	スポーツ・レクリエーション施設	加美体育館	直営	R C	991	1974
19	スポーツ・レクリエーション施設	温水プール「サンスイム・カミ」	指定管理	RSC	1494	1991
24	スポーツ・レクリエーション施設	ラベンダー園活性化施設	指定管理	RSC	311	2008
28	スポーツ・レクリエーション施設	道の駅「杉原紙の里・多可」	指定管理	W	534	1996
29	スポーツ・レクリエーション施設	杉原紙展示・体験工房「杉原紙の里」	直営	W	122	2015
31	スポーツ・レクリエーション施設	八千代体育館	直営	R C	918	1987
32	スポーツ・レクリエーション施設	ガルテン八千代管理棟	直営	R C	186	1980

白書 番号	施設類型	施設名称	管理形態	構造	延床面積	建築年
34	スポーツ・レクリエーション施設	八千代自然活用村施設「エーデルささゆり」	指定管理	R C	1527	1990
35	スポーツ・レクリエーション施設	交流促進センター(催事館)「リーベリリエン」	指定管理	W	612	1996
39	スポーツ・レクリエーション施設	大和体験交流活性化施設「なごみの里山都」	指定管理	W	1148	2003
65.2	スポーツ・レクリエーション施設	健康福祉センター「アスパルアリーナ」	直営	RSC	1147	1999
125	スポーツ・レクリエーション施設	余暇村公園 管理事務所	直営	W	544. 3	1987
42	産業系施設	農村環境改善センター「グリーンプラザ」	直営	S	599	1999
44	産業系施設	ラベンダー園育苗販売加工施設	指定管理	W	385. 1	2008
61	子育て支援施設	みなみ児童館	直営	S	280	2004
156	子育て支援施設	子育てふれあいセンター「ココミル」	直営	R C	996	1974
65.1	保健・福祉施設	健康福祉センター「アスパル健康福祉棟」	直営	RSC	2782. 9	1999
77.2	保健・福祉施設	モルゲンハイト八千代(交流施設)	直営	W	133. 5	2003
75	医療施設	杉原谷診療所	直営	W	368. 8	1992
76	医療施設	松井庄診療所	指定管理	S	625	1999
77.1	医療施設	モルゲンハイト八千代 (国民健康保険八千代診療所)	直営	W	919. 5	2003
78	行政系施設	多可町役場	直営	S	5016. 48	2018
79	行政系施設	防災センター	直営	R C	292	2001
80	行政系施設	たかテレビ局	直営	R C	433. 79	1997
189	行政系施設	西脇消防署多可出張所	使用貸借	R C	548. 42	2021
190	行政系施設	西脇消防署多可北出張所	使用貸借	R C	553. 24	2019
191	行政系施設	西脇消防署多可南出張所	使用貸借	R C	553. 24	2019
158	その他	通園バス等車庫	直営	S	163	1979
159	その他	倉庫(旧中区特設第1分団消防庫)	直営	S	118	1979
162	その他	加美水防倉庫	直営	W	92	2006
163	その他	川東倉庫	直営	S	75	1995
164	その他	松井庄診療所官舎	指定管理	W	169	1990
174	その他	エーデルささゆり車庫・倉庫	直営	R C	340	1990
175	その他	旧八千代保健センター	直営	R C	600	1990
184	その他	八千代水防倉庫	直営	C B	32	1993

2. 施設毎の現状（劣化状況）の整理

1) 現状（劣化状況）の把握

多可町公共施設等総合管理計画「第3章 4. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方」に基づき、施設管理者自らが「施設管理者による施設点検マニュアル」を用いて施設の点検を日常的または定期的に行っています。それにより、法定点検のほかに屋根・屋上、外壁、内装等について自主点検を行うことで事故等を未然に防止し、点検後の適切な処理により改修費を最小限に抑え、施設の長寿命化につなげていきます。

2) 劣化状況の評価

1)の結果を基に、施設毎に部位別（屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備）の劣化状況に応じて健全性を評価します。また、電気設備、機械設備については目視による施設点検だけでは劣化度の判断が出来ないため、経過年数を基に評価します。

評価の基準は「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（H29.3月文部科学省）」を参考に下記の通り設定します。

目視による評価指標（屋根・屋上、外壁）

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化がみられる（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化がみられる（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	応急処置等早急に対応の必要がある。

経過年数による評価指標（内部仕上げ、電気設備、機械設備）

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年未満
C	40年以上
D	著しい劣化のあるもの

※新築・改修からの経過年数

3) 施設毎の評価一覧

建物基本情報								構造		劣化状況評価				
白書番号	施設名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
					西暦	和暦		基準	診断					
1	隣保館「ふれあいセンター」	RC	2	276	1969	S44	51	旧	-	B	B	B	B	B
4	文化会館「ベルディーホール」	RS	2	2,994	1990	H2	30	新	-	C	C	B	B	B
5	教育集会所	S	1	235	1979	S54	41	旧	-	C	C	B	C	D
6	加美コミュニティプラザ	RC	2	2,162	1972	S47	48	旧	-	C	C	B	B	B
7	交流会館	S	1	612	1999	H11	21	新	-	A	B	B	B	B
9	八千代コミュニティプラザ	RC	2	2,616	1978	S53	42	旧	-	C	B	A	B	A
186	生涯学習まちづくりプラザ	RC	2	2994	2025	R7	0	新	-	A	A	A	A	A
10	鍛冶屋線記念館	W	1	90	1993	H5	32	新	-	B	B	B	B	B
11	ビジターセンター「那珂ふれあい館」	W	1	1,170	2004	H16	16	新	-	A	C	A	A	A
12	杉原紙研究所	W	1	481	1996	H8	24	新	-	A	A	B	B	B
13	和紙博物館「寿岳文庫」	S	2	139	1999	H11	21	新	-	A	A	B	B	B
170	紙匠庵でんでん	W	1	59	2002	H14	18	新	-	A	A	A	B	B
14	中央公園プール	RC	1	215	1978	S53	42	旧	-	A	D	B	B	B
17	道の駅「山田錦発祥のまち・多可」	W	1	185	2012	H24	8	新	-	A	A	A	A	A
18	加美体育館	RC	2	991	1974	S49	46	旧	-	D	D	A	A	A
19	温水プール「サンスイム・カミ」	SRC	1	1,494	1991	H3	29	新	-	A	A	A	A	B
24	ラベンダー園活性化施設	SRC	1	311	2008	H20	12	新	-	A	A	A	A	A
28	道の駅「杉原紙の里・多可」	W	1	534	1996	H8	24	新	-	A	A	B	B	B
29	杉原紙展示・体験工房「杉原紙の里」	W	1	122	2015	H27	5	新	-	A	A	A	A	A
31	八千代体育館	RC	1	918	1987	S62	33	新	-	A	A	B	A	A
32	ガルテン八千代管理棟	RC	1	186	1980	S55	40	旧	-	C	B	C	C	B
34	八千代自然活用村施設「エーデルささゆり」	RC	2	1,527	1990	H2	30	新	-	A	A	B	B	B
35	交流促進センター(催事館)「リーベリエン」	W	1	612	1996	H8	24	新	-	A	A	B	B	B
39	大和体験交流活性化施設「なごみの里山都」	W	1	1,148	2003	H15	17	新	-	A	A	B	B	B
65.2	健康福祉センター「アスパルアリーナ」	SRC	2	1,147	1999	H11	21	新	-	A	A	A	B	B

建物基本情報								構造		劣化状況評価				
白書番号	施設名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
					西暦	和暦		基準	診断					
125	余暇村公園 管理事務所	W	1	67	1987	S62	33	新	-	A	A	B	B	B
42	農村環境改善センター 「グリーンプラザ」	S	1	599	1999	H11	21	新	-	A	C	B	B	B
44	ラベンダー園育苗販売加工施設	W	1	385	2008	H20	12	新	-	A	B	A	A	A
61	みなみ児童館	S	1	280	2004	H16	21	新	-	B	B	A	B	B
156	子育てふれあいセンター「ココミル」	RC	1	996	1974	S49	51	旧	-	A	A	A	C	C
65.1	健康福祉センター 「アスパル健康福祉棟」	SRC	2	2,783	1999	H11	21	新	-	B	A	B	B	B
77.2	モルゲンハイト八千代（交流施設分）	W	1	134	2003	H15	17	新	-	A	A	B	B	B
75	杉原谷診療所	W	1	317	1992	H4	28	新	-	C	B	C	B	B
76	松井庄診療所	S	1	625	1999	H11	21	新	-	A	A	A	B	B
77.1	モルゲンハイト八千代 （国民健康保険八千代診療所）	W	2	920	2003	H15	17	新	-	A	A	B	B	B
78	多可町役場	S	4	4,885	2018	H30	2	新	-	A	A	A	A	A
79	防災センター	RC	1	292	2001	H13	19	新	-	B	B	B	B	B
80	たかテレビ局	RC	1	434	1997	H9	28	新	-	D	D	D	C	D
189	西脇消防署 多可出張所	RC	1	548	2021	R3	4	新	-	A	A	A	A	A
190	西脇消防署 多可北出張所	RC	1	553	2019	R元	6	新	-	A	A	A	A	A
191	西脇消防署 多可南出張所	RC	1	553	2019	R元	6	新	-	A	A	A	A	A
158	通園バス等車庫	S	1	163	1979	S54	41	旧	-	B	B	C	C	C
159	旧中区特設第1分団消防庫	S	2	118	1979	S54	41	旧	-	A	A	B	A	A
162	加美水防倉庫	W	1	92	2006	H18	14	新	-	B	B	A	A	A
163	川東倉庫	S	1	75	1995	H7	25	新	-	A	A	B	B	B
164	松井庄診療所官舎	W	2	169	1990	H2	30	新	-	B	B	B	B	B
174	エーデルささゆり車庫・倉庫	RC	2	340	1990	H2	30	新	-	A	A	B	B	B
175	旧八千代保健センター	RC	2	600	1990	H2	30	新	-	A	C	C	A	A
184	八千代水防倉庫	CB	1	32	1993	H5	27	新	-	C	C	A	C	C

3. 今後の取り組み方針

1) 基本的な方針

従来の維持管理は、建物の損傷や不具合が表面化してから修繕作業等を行う「事後保全」を基本としており、その都度部分的な補修を行ってきた結果、建物の劣化を抑制できず約50～60年程度で建て替えを行う必要がありました。

前述した施設管理者による日常的・定期的な施設の自主点検に基づき機能・性能の保持・回復を行う「予防保全」の考え方を推進するとともに、社会情勢の変化に伴う住民ニーズに対応できる大規模改造等を併せて実施することで施設の長寿命化を図ります。

施設の更新（改築）よりも工事費が安価となる修繕等により施設を長寿命化することを基本としますが、修繕・改修に多額の費用がかかるため、改築した方が経済的に望ましい場合や、公共施設の適正配置など、地域の実情により更新・統廃合が必要な場合は、今後の維持管理方法などを十分に検討の上、更新・統廃合を行います。

2) 目標使用年数

長寿命化を図る施設の目標使用年数は、「建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）」に示されている目標耐用年数の上限値とします。公共施設については、用途が「学校、官庁」に準じるものとし、80年を目標使用年数として設定します。

建築物全体の望ましい目標耐用年数の級（Y₀：目標耐用年数の級を示す記号）

級 構造 種別	鉄筋コンクリート造、 鉄骨・鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
	高品質 の場合	普通の品質 の場合	重量鉄骨		軽量 鉄骨		
			高品質 の場合	普通の品質 の場合			
学 校 官 庁	Y。 100以上	Y。 60以上	Y。 100以上	Y。 60以上	Y。 40以上	Y。 60以上	Y。 60以上
住 宅 事務所 病 院	Y。 100以上	Y。 60以上	Y。 100以上	Y。 60以上	Y。 40以上	Y。 60以上	Y。 40以上
店 舗 旅 館 ホテル	Y。 100以上	Y。 60以上	Y。 100以上	Y。 60以上	Y。 40以上	Y。 60以上	Y。 40以上
工場	Y。 40以上	Y。 25以上	Y。 40以上	Y。 25以上	Y。 25以上	Y。 25以上	Y。 25以上

目標耐用年数の級の区分

級 目標耐用年数	代表値	範囲	下限値
Y ₀ . 150	150 年	120～200 年	120 年
Y ₀ . 100	100 年	80～120 年	80 年
Y ₀ . 60	60 年	50～80 年	50 年
Y ₀ . 40	40 年	30～50 年	30 年
Y ₀ . 25	25 年	20～30 年	20 年
Y ₀ . 15	15 年	12～20 年	12 年
Y ₀ . 10	10 年	8～12 年	8 年
Y ₀ . 6	6 年	5～8 年	5 年
Y ₀ . 3	3 年	2～5 年	2 年

「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）より

4. 対策内容と実施時期及び対策費用

1) 対策内容の考え方

対象施設については、予防保全の考え方を促進しながら、目標耐用年数を 80 年に設定することから施設の改修周期を 20 年とし、建築後 20 年、60 年に機能回復を目的とした大規模改造（保全改修）を実施し、建築後 40 年を目途に機能回復と社会ニーズ等に対応した施設価値の向上に資する長寿命化改修を行うこととします。

なお、この考え方は別に既に策定済みの学校施設等長寿命化計画や児童福祉施設等長寿命化計画においても同様に設定しています。

2) 対策費用の見込み

対策費用の見込みについては、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」付属ソフトを活用し、対象施設の延べ床面積に更新、改修等の単価を乗じることにより算出します。

更新単価は、総合管理計画と同様に財団法人地域総合整備財団作成の総務省提供ソフトの単価を用い、長寿命化改修及び大規模改造（保全改修）の単価は「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」付属ソフトを参考にし、それぞれ更新単価の 60%及び 25%として試算をします。

○今後の維持・更新コスト

対象施設について、50 年で建替える従来の改修・更新計を今後も続けた場合、今後 40 年間のコスト（維持管理費含む）はおよそ 231 億円となります。

一方、前述の基本的な方針に沿って、劣化状況調査による健全度が低い箇所の優先的な改修や長寿命化改修を行った場合は、40 年間のコスト（維持管理費含む）はおよそ 200 億円となり、約 31 億円の縮減が見込まれます。

3) 実施計画

前項のコスト算出の資料と自主点検の結果等を踏まえ、各対象施設の改修等を実施していくこととし、その計画を次頁以降に示します。

実施計画の他にも各施設の実情に応じて改修等を実施し、適宜実施計画の見直しをしていきます。

実 施 計 画

施設 番号	施設名称	今後の取り組み方針	2026～2035 (R8～R17)	概算工事費 (百万円)
1	隣保館「ふれあいセンター」	現状を維持しながら、利用向上に取り組むとともに、管理運営費や維持管理コストの削減を図る。	長寿命化改修	66
4	文化会館「ベルディーホール」	現状を維持しながら、利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減（民間活力の導入等）や維持管理コストの削減を図る。	長寿命化改修	719
5	教育集会所	現状を維持しながら、利用向上に取り組むとともに、管理運営費や維持管理コストの削減を図る。	長寿命化改修	56
6	加美コミュニティプラザ	住民の文化の向上とコミュニティ活動の推進を図るとともに、地域共生・地域づくりの拠点として必要な機能や提供サービス等について再検証を行い、必要に応じて各機能の配置の見直しを行う。	長寿命化改修	519
9	八千代コミュニティプラザ	利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減や維持管理コストの削減を図る。	長寿命化改修	531
10	鍛冶屋線記念館	景観形成無形文化財に登録予定で、今後、観光などでの活用が期待できるため、現状を維持しながら利用向上に取り組むとともに、管理運営費や維持管理コストの削減を図る。	長寿命化改修	22
11	ビジターセンター 「那珂ふれあい館」	多可町の歴史、文化を体感し、学べる町内唯一の施設である。今後、多可町の歴史文化遺産に気軽に触れ、学べる機会を創出し、文化力の向上や郷土愛、誇りの醸成、情報発信を目指す。 また、建設から 21 年が経過した木造施設であることから、今後、メンテナンスが必要となってくると考えられ、計画的な補修、改修が必要である。	部位修繕	16
14	中央公園プール	利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減や維持管理コストの削減を図る。 利用率が低下した際には、利用度向上対策を講じた上で、向上しない場合は、施設の集約や他施設への統廃合、廃止・撤去等を含めた施設のあり方を検討する。	長寿命化改修	44
17	道の駅「山田錦発祥のまち・多可」 (まちの駅・たか)	利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減（民間委託費の削減）や光熱水費等の維持管理コストの削減を図る。 利用率が低下した際には、利用度向上対策を講じた上で、向上しない場合は、施設の集約や他施設への統廃合、廃止・撤去等を含めた施設のあり方を検討する。	大規模改造	17
18	加美体育館	利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減（民間活力の導入等）や光熱水費等の維持管理コストの削減を図る。 利用率が低下した際には、利用度向上対策を講じた上で、向上しない場合は、施設の集約や他施設への統廃合、廃止・撤去等を含めた施設のあり方を検討する。	長寿命化改修	171

施設 番号	施設名称	今後の取り組み方針	2026～2035 (R8～R17)	概算工事費 (百万円)
19	温水プール 「サンスイム・カミ」	利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減(民間委託費の削減) や光熱水費等の維持管理コストの削減を図る。 利用率が低下した際には、利用度向上対策を講じた上で、向上しない 場合は、施設の集約や他施設への統廃合、廃止・撤去等を含めた施設 のあり方を検討する。	長寿命化改修	232
24	ラベンダー園活性化 施設	利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減(民間委託費の削減) や光熱水費等の維持管理コストの削減を図る。	大規模改造	28
44	ラベンダー園育苗販 売加工施設	利用率が低下した際には、利用度向上対策を講じた上で、向上しない 場合は、施設の集約や他施設への統廃合、廃止・撤去等を含めた施設 のあり方を検討する。	大規模改造	35
29	杉原紙展示・体験工 房	利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減(民間委託費の削減) や光熱水費等の維持管理コストの削減を図る。 利用率が低下した際には、利用度向上対策を講じた上で、向上しない 場合は、施設の集約や他施設への統廃合、廃止・撤去等を含めた施設 のあり方を検討する。	大規模改造	11
31	八千代体育館	利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減(民間活力の導入等) や光熱水費等の維持管理コストの削減を図る。	長寿命化改修	155
32	ガルテン八千代 管理棟	利用率が低下した際には、利用度向上対策を講じた上で、向上しない 場合は、施設の集約や他施設への統廃合、廃止・撤去等を含めた施設 のあり方を検討する。	長寿命化改修	40
34	エーデルささゆり	利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減(民間委託費の削減) や光熱水費等の維持管理コストの削減を図る。 利用率が低下した際には、利用度向上対策を講じた上で、向上しない 場合は、施設の集約や他施設への統廃合、廃止・撤去等を含めた施設 のあり方を検討する。	長寿命化改修	294
42	農村環境改善セン ター「グリーンブラ ザ」	利用向上に取り組むとともに、管理運営費の削減(民間委託費の削減) や光熱水費等の維持管理コストの削減を図る。	部位修繕	11
75	杉原谷診療所	経営の効率化を進めるとともに、計画的な保全により、施設の長寿命化 を図る。	長寿命化改修	76
80	たかテレビ局	現状を維持しながら、利用向上に取り組むとともに、管理運営費や維持 管理コストの削減を図る。 必要性が低下した場合は、廃止・撤去等を含めた施設のあり方を検討 する。	部位修繕	7

施設 番号	施設名称	今後の取り組み方針	2026～2035 (R8～R17)	概算工事費 (百万円)
164	松井庄診療所官舎	現状を維持しながら、利用向上に取り組むとともに、管理運営費(民間委託費の削減)や維持管理コストの削減を図る。 必要性が低下した場合は、廃止・撤去等を含めた施設のあり方を検討する。	長寿命化改修	37
156	子育てふれあいセンター「ココミル」	現状を維持しながら、利用向上に取り組むとともに、管理運営費や維持管理コストの削減を図る。	長寿命化改修	164

【参考資料】

第Ⅰ期で除却または譲渡になった施設（⑤普通財産等、⑥それ以外の施設）

小学校区	施設類型	白書 番号	施 設 名	施設所在地	備考
中北小	スポーツ・レクリエーション系施設	15	北アリーナ	中区岸上 281-22	除却
中北小	行政系施設	183	西脇消防署多可出張所	中区岸上 281-173	除却
中北小	保健・福祉施設	66	中老人福祉センター「おもいで荘」	中区鍛冶屋 850-69	譲渡
中南小	保健・福祉施設	67	心身障害者小規模通所施設 「開拓松葉園」	中区奥中 970-8	除却
中南小	行政系施設	78	多可町役場	中区中村町 123	除却
中南小	市民文化系施設	3	中コミュニティプラザ	中区茂利 20	除却
中南小	産業系施設	43	農村婦人の家	中区中安田 509-2	譲渡
杉原谷小	保健・福祉施設	68	かみ総合福祉センター	加美区市原 41	譲渡
杉原谷小	保健・福祉施設	70	加美老人福祉センター「春蘭荘」	加美区丹治 551-1	譲渡
杉原谷小	保健・福祉施設	71	加美小規模作業所兼ふれあいセン ター「みどりの家」	加美区市原 40-1	譲渡
杉原谷小	保健・福祉施設	72	認知症高齢者グループホーム 「やすらぎの郷」	加美区市原 40-1	譲渡
杉原谷小	行政系施設	81	旧加美消防駐在所	加美区丹治 500-1	除却
松井小	供給処理施設	134	木質バイオマスエネルギー供給施設	加美区豊部 1922-8	譲渡
松井小	子育て支援施設	60	キッズランドかみ	加美区的場 82-1	譲渡
松井小	その他	161	旧みなみ保育所	加美区寺内 291-3	譲渡
旧八北小	スポーツ・レクリエーション系施設	38	滞在型市民農園「ブライベンオオヤ」	八千代区大屋 359	譲渡
旧八南小	保健・福祉施設	74	八千代老人福祉センター「林泉荘」	八千代区俵田 178-4	除却
旧八南小	保健・福祉施設	73	高齢者障害者等活動及び生活支援 促進施設 「ささゆりふれあいセンター」	八千代区中野間 131	譲渡
旧代南小	スポーツ・レクリエーション系施設	9	旧八千代陶芸教室	八千代区中野間 603	除却
旧八南小	子育て支援施設	63	キッズランドやちよ	八千代区仕出原 353	譲渡
旧八南小	その他	173	旧八千代給食センター	八千代区下三原 615-1	譲渡
旧八西小	スポーツ・レクリエーション系施設	40	滞在型市民農園「ブルーメンやまと」	八千代区大和 1483	譲渡

多可町公共施設等再配置計画（第Ⅱ期）
2026 年度～2035 年度

発行月日：令和 8 年（2026 年）3 月

編集・発行：多可町財政課

TEL：0795-32-2380（代表） FAX：0795-32-2349
